

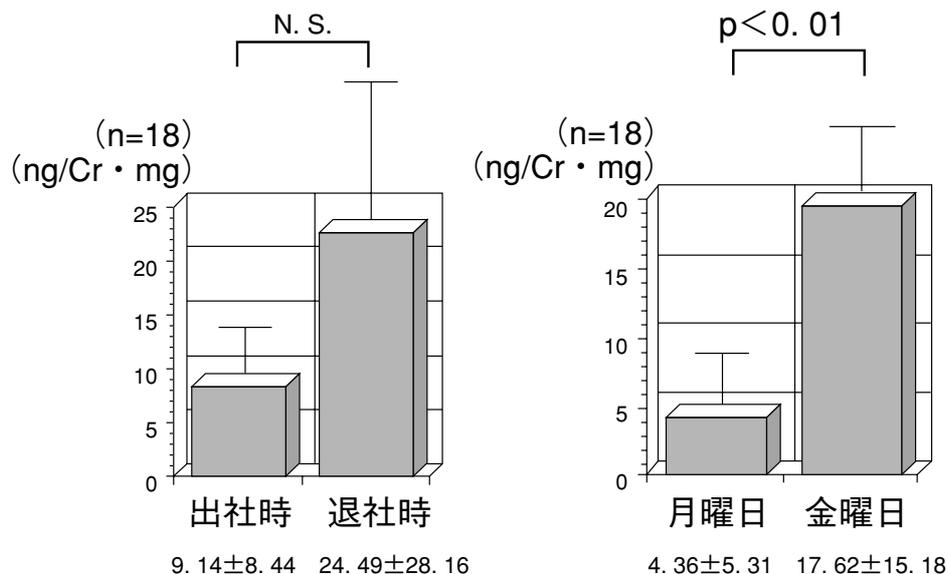
たばこを吸わない人が長時間、喫煙者と同じ職場で勤務すれば、明らかにたばこ煙の影響を受けます。  
職場、家庭、公共施設での完全な分煙環境整備が必要です。

分煙環境のない職場で喫煙者とともに、事務職勤務をおこなう非喫煙者18名のニコチンの代謝産物である尿中コチニンを測定しました。その結果、入社時 (AM9:00) より退社時 (PM5:00)、週始め (月曜日) より週末 (金曜日) の尿中コチニン量がより多く検出されました。分煙環境が整備

された後、同様の検討を行った結果、退社時、金曜日の尿中コチニンの上昇はなくなりました。

#### ■主要参考文献

大宇根晃雅、津谷隆史ら：分煙環境のない職場における非喫煙者の尿中コチニン動態の検討と受動喫煙に対する意識調査。中国労災病院医誌。6：31-35, 1998



分煙環境のない職場における非喫煙者の入社時と退社時、及び月曜日と金曜日の尿中コチニン濃度